

重要なお知らせです！ 来る12月9日ゼミは中止し、1月13日に延期します。大阪でのコロナ感染の拡大を受けの措置で、今後の予定にも留意願います。

11月25日のゼミは、マルクス『資本論』第3巻35章「貴金属と為替相場」の第1節「金準備の運動」を服部さんの報告で行いました。逼迫期における銀行券の蓄蔵に対して、原始的な状態と同様に貴金属での蓄蔵が繰り返されている。貴金属の流出入に関し注意点を9つ挙げています：1) 金銀の地域内と原産地からの流れを区別、2) 非産出国間で常に貴金属の流出入、3) 貴金属の輸出入超過は商品とは別の貴金属流出入、4) 貴金属輸出入と中央銀行の金属準備の増減、5) 国際的支払い、6) 恐慌と為替相場、7) 恐慌終焉と金属準備、8) 金属流出と恐慌、9) 支払い差額の問題。信用制度・銀行制度の発達で貨幣資本を生産に奉仕させ、金準備を縮小する。討論では、化学出身の報告者から貨幣で使用される金・銀・銅の貴金属が元素の周期表の同列にあるのが不思議と披露され、それではプラチナの貨幣がないのはなぜか、いやアルミもある。アジアは金ではなく銀本位。これらの貴金属のみがなぜ貨幣として取引に使われたのか、マルクスは「批判要綱」で金の問題を詳しく分析し、エンゲルスはそれを分かり易い言葉で書いている。信用が勝るのは平和時で経済が好調なときなのか。啓蒙経済学とはなにを指しているのか。出席は、小野さん、高島さん、川口さん、服部さん、斎藤さんと高田の6名でした。

- * 12月9日ゼミの中止・延期について皆様からのご意見、ありがとうございます。1週間前での中止決定に、特に異論はありませんでした。
- * 12月23日ゼミ開催については、感染状況によっては中止・延期となる可能性があります。その場合はメールでお知らせするとともに、HPにも掲載いたします。これについてもご意見をお寄せください。
- * 参加者が重複しています「森岡ゼミ」でも同様の対応を検討中です。
- * 働き方 ASU-NET では、連続講座「コロナ禍と未来を考える」を全3回・Web開催で行います。第1回は、12月16日(水)夜、参加申込期限は12月14日です。詳しくは、<https://hatarakikata.net/13288/> をご覧ください。先着100名ですので、早めに申込ください。

***** ゼミ日程 *****

- ※ 12月9日ゼミは中止し、1月13日ゼミに延期いたします。
- 12月23日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻35章 貴金属と為替相場 2節 報告高田
- 1月13日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
斎藤幸平『人新世の「資本論」』第1章・第2章 報告小野さん
- 1月27日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻36章 資本主義以前 報告者未定
その後 2021/2/10, 2/24, 3/10, 3/24 (アイクルの部屋)